

## 事業名 <sup>あたた</sup>阿多田漁港水産基盤整備事業

阿多田島の基幹産業である「つくり育てる漁業」の振興や漁村の活性化に大きく貢献した事業であり、漁業関係者や島民から評価の高い事業

受賞機関 広島県広島地域事務所建設局  
廿日市支局

大竹市建設部

事業実施期間 昭和63年4月1日～平成13年3月31日

事業費 3,088百万円

### 事業等の特徴

住民のほとんどが漁業者の島である。整備された施設全部を通して見ると、これからの水産基盤整備の教科書的な事例となっている。つまり、良好な海域環境を保ちながら、漁業生産を高く維持し、高齢者も安心して働ける労働環境を整備し、さらに、同時に良好な生活環境も実現している。現在は、ハード施設が完成し、それに連携して給餌管理の徹底などのソフト施策も行われている。

### 事業の概要と利用者等の評価

本事業は、この地区の海面漁業と養殖漁業を始めとした「つくり育てる漁業」の推進のための物揚場や用地等の水産基盤の整備を行うとともに、島の玄関港としての安全で使いやすいフェリー・栈橋の整備、さらには、平成3年の赤潮の大発生により養殖漁業が大打撃を受けたことにも対応し、継続的な海域の水質調査や給餌管理等の徹底といったソフト施策とも連携しつつ、漁村の生活環境の向上と赤潮の一因ともなる生活排水の海域への流入の防止を目的とした漁業集落排水施設の整備を実施したものである。

本事業により、漁業活動の効率性・利便性が向上したことに加え、造成した漁港施設用地には、イワシの加工場やヒラメの種苗生産施設といった民間の施設が新たに建設されるなど、島の水産業の振興が図られた。特に、漁業集落排水施設の整備により、都市に比べ遅れている漁村の生活環境が改善されたことに加え、従来に比べ赤潮の発生頻度も減少し、安定した養殖漁業が営めるようになった。

平成13年度に、本事業の整備効果に関する島民アンケートを実施したところ、約8割の島民が漁業生産の安



イワシ加工場とヒラメ種苗生産場

定、水産業の振興に大きな効果があったと評価しており、整備した個々の漁港施設については、「施設の拡充により大型漁船の導入が可能となり



フェリー・栈橋利用状況

作業の効率化が図られた」、「栈橋設置により資材・餌等の積み下ろしが楽になった」等の評価を得ている。

また、本土へのフェリー・栈橋の改修については、約9割の島民が以前より利便性が良くなったと評価している。

漁業生産については、平成11年と平成3年を比較すると、海面漁業生産量は約半分に減少しているものの、ハマチ、カキ等の海面養殖の生産量は40%以上増加し、結果として生産金額は、水産業を取り巻く情勢が全体的に厳しいなか、10%以上も増加しており、都会からのUターン者や水産業を後継する若者がみられるようになった。

### 審査委員会委員の意見等

- ・雇用環境の整備にも寄与した点が良い。
- ・Uターン、Jターン、そしてIターンを誘導する整備が待たれている、活性化を結び合わせた事業として評価したい。
- ・漁村における生産性、生活環境が向上し、地域の活性化に貢献している。
- ・多種の事業をうまく連携させた総合型事業であり、様々な工夫のためかよい効果が出ているようである。島民による評価は高いが、島外からの評価がどのようなものか気になるところである。事業費を島民一人あたりに換算すると1,000万円弱となる。離島での事業に特有の難しいところであるが、先進的な事業としてより積極的に島外へアピールすることなども必要である。

受賞賛助会員 復建調査設計㈱、三井造船㈱中国支社